

# History 新野左馬助親矩

キラリを再発見

特別編

# No.1

## 新野左馬助公と故鈴木東洋先生

大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送が決定し、地元の偉人である新野左馬助公が登場することが分かり、御前崎市、特に新野地区で、いち早く活動が始まりました。これは、故鈴木東洋先生の長年の研究と顕彰活動による功績が大きいのです。

先生は、「新野左馬之助公遺蹟保存会」趣意書の中で、「御墓所の荒廃ぶりを嘆き、何とかしなければ」という声に応え、「左馬助公をもう一度見直し、その正しい姿を後世に伝えることこそ、現代に生きる吾々の責務」として昭和48年9月15日、同会を立ち上げました。また、翌年には、先生の長年の研究をまとめた『新野左馬助公』が発刊されました。

先生は平成25年に他界されましたが、今もその精神は、「新野左馬助公献茶祭」や「新野カカシ祭り」において、新野地区に引き継がれています。



▲2012年の献茶祭に参加する故鈴木東洋先生



▲新野カカシ祭り2016に出展された左馬助公のカカシ

大河ドラマ「おんな城主 直虎」  
応援プロジェクト

照会 社会教育課 ☎0548⑥1129



▲送水ポンプ車など車両の説明



▲海抜22メートルの防波壁を見学

御前崎市、牧之原市、掛川市、菊川市の4市で構成する浜岡原子力発電所安全等対策協議会（以下、四市対協）の会員30人は、中部電力(株)浜岡原子力発電所が進めている安全性向上対策工事を9月29日に視察しました。4号機で実施されている主要な対策工事が9月末でおおむね終了することを受けて実施しました。

視察終了後、四市対協の会長を務める柳澤市長は「四市対協としては初めての視察であり、実施することができてよかった。今後も対策工事の進展を見守り、立地市として市民や近隣自治体に状況を伝えていきたい」と話しました。

※四市対協とは  
原子力発電所設置に伴い住民の安全確保ならびに地域開発について調査研究し、地域の発展と福祉の向上に寄与することを目的とした協議会。

# Atomic

暮らしと原子力

「浜岡原子力発電所における  
安全性向上対策工事の視察」